

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念はあるが、事業所独自のものがないので独自の理念を作成する。	法人理念を基に、事業所独自の物を設定する。	全体でミーティングを行い、グループホーム独自の理念をわかりやすい言葉で作成し、浸透させる事で更なるケアの向上に努める。	6ヶ月
2	2	終末期を迎える方に対する看取り介護の取り組みや方針にお内容が書面化されていない。	看取り介護の取り組みや方針を細かく書面化しスタッフと家族が共有できる環境を作る。	利用者の高齢化・重度化が進む中、早い段階からスタッフとご家族がどのように取り組むか、共有できるようにする。	6ヶ月
3	3	食に関して提供するだけでなく利用者を交えて一緒に準備し楽しめる支援を行う。	買い出しから、調理、片付け、までの、一連の流れを利用者に参加してもらう	おやつなどのメニュー決め・買い物・準備・後片づけ、などを利用者と共におこなう事で個々の意志反映・残存能力の活用につなげる。	6ヶ月
4	4	画一的になりがちな入浴を、もっと楽しんでもらう	お好きな音楽を聴きながら、季節にあった入浴を楽しんでもらう。	お好きな音楽を聴きながら入浴を行っているが、時間帯や変わり湯などで、季節感を感じてもらい 入浴を更に楽しんでもらう。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。